

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		10 03 08	中期総合計画主要施策番号		1-04,2-02,5-06		担当課	部・課	林務部 森林づくり推進課	
事業名		信州「森の小径」整備事業				内線		3263		
						E-mail		shinrin@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	森林内の歩道や周辺施設の整備を促進し、森林を活用した体験活動を支援することで、森林と人との関係の再生、健康づくりへの寄与、自然学習の場としての活用を図り、こうした活動を展開する地域の活性化につなげる。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 エコツーリズムなどが隆盛で、森林体験型観光の需要も見込まれるが、地域によっては、観光や体験活動の基盤となる歩道、施設等の整備が遅れているケースもある。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・地域によっては、森林空間利用やこれを活性化につなげるための構想・計画が明確でない。 ・施設整備等のため財源が十分に確保できない。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 森林体験活動を通じて地域の活性化を図るため、森林空間利用施設等の整備を支援する必要がある。								
		事業内容								
		市町村の森林空間利用等に関する全体計画に基づき、施設整備等に対し補助する。 (歩道開設;補助率:[国]1/2、森林整備等;補助率:[国]4/10) 事業内容:歩道整備、森林整備、体験活動施設整備、衛生施設整備等								
	実施期間	H18 ~		根拠法令等						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	森林空間利用施設を整備し、来訪者の増加による地域の活性化を図る。		茅野市ほか6箇所、森林空間利用施設整備等を行う。			茅野市ほか6箇所、歩道、休憩施設等整備を行い森林体験活動の基盤整備が進んだ。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	13,350	10,397	14,213	国庫・県庫		国庫	
	決 算 額 (B)		千円	13,350	10,333		実施方法		補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	歳出節別		補助金:10,333	
	概 算	従事する職員数	人	0.10	0.10	0.10	内訳等			
	人件費	概算人件費 (C)	千円	714	715	715	(単位:千円)			
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	14,064	11,048	14,928					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	実施箇所数		箇所	6	7	6	標識設置:2箇所 休憩施設:2箇所			
	歩道整備延長		m	13,867	11,065	10,726				
	周辺森林整備		ha	6	3					
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・各市町村の事業計画に基づいて事業執行しており、当面ニーズに変化はない。 ・第一義的には市町村の活動展開がキーポイントであり、これまでの県としての関与に変わりはない。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・エコツーリズムや森林体験型観光の需用増が見込まれるので、本事業により森林空間活用等の基盤となる歩道等施設の整備を行って地域への誘客促進や活性化につなげていく必要がある。 ・県としては、市町村の取組みを支援することを基本に、完成した施設の維持管理についても必要に応じて助言していく必要がある。							